

歯科医学に必要な すべての疾患をこの1冊に!

口腔顎顔面疾患学

— 臨床口腔病理診断学 —

国試・CBT対策から臨床
までフルに活用できる!



著 昭和大学歯学部 立川哲彦

A4判/2色刷/204頁

定価6,930円(本体6,600円+税)

ISBN978-4-7624-0674-4

- 口腔病理学からみた疾患学のポイントを集約。
- 簡潔明快な解説で、知識の確認に最適。
- 口腔顎顔面疾患の正確かつ迅速な診断のために。
- 手元において辞書代わりに。

A 粘膜水疱性病変 bullous disease

種類	1. ウイルス性疾患 1) 単純疱疹ウイルスによる感染 2) 水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染 3) ビコルナウイルスによる感染 4) ポックスウイルスによる感染 5) パラミクソウイルスによる感染 2. 免疫関連性疾患 1) 尋常性天疱瘡 2) 増殖性天疱瘡 3) 落葉性天疱瘡 4) 紅斑性天疱瘡 5) 水疱性類天疱瘡 3. その他の疾患 1) 表皮水疱症
----	---

1 ウイルス性疾患 viral disease

1) ヘルペスウイルス群による病変

ヘルペスウイルスとは	ウイルスは遺伝暗号を発現する DNA または RNA の核酸コア (ゲノム) からなり、ヘルペスウイルスは DNA コアを有するウイルスである。 ・ α 群 (Hv- α): 細胞から容易に感染性ウイルスが放出される。 ・ β 群 (Hv- β): 感染細胞に感染性が付随している。
------------	---

1) — 1 単純疱疹ウイルスによる病変 herpes simplex virus (HSV)

単純疱疹ウイルスとは	Hv- α に属するウイルスであり、2 つに分類されている。 ・HSV-1: 性器以外に病変を生じるウイルス群、口唇ヘルペス。 ・HSV-2: 性器に病変を生じるウイルス群、性器ヘルペス。
本ウイルス感染による病変の種類	1. 急性疱疹性歯肉口内炎 2. 疱疹性湿疹 3. 口唇疱疹 (口唇ヘルペス)
潜伏期間	感染後数日から 2 週間である。
感染率	人口の 90% が HSV に対する抗体を有し、その約 40% に病変の発現をみる。
ポイントワード	ヘルペスウイルス、口唇ヘルペス、性器、口内炎

(1) 急性疱疹性歯肉口内炎 acute herpetic gingivostomatitis

疾患の特徴	幼児に認められる歯肉腫脹、小水疱形成する疾患である。
臨床所見	1. 1~6 歳の幼児で、粘膜に境界明瞭なびらんを認めるが、このびらは小水疱が破壊されたものである。 2. 発熱、口臭、痒痛、リンパ節の腫脹を認め、10~16 日で自然治癒する。 3. 口腔ばかりでなく、顔面、四肢の皮膚にも小水疱形成がみられる。
ポイントワード	ヘルペスウイルス、幼児、歯肉水疱、びらん、自然治癒

(2) 疱疹性湿疹 eczema herpeticum

疾患の特徴	神経性皮膚炎やアトピー性皮膚炎に単純性疱疹ウイルスが重感染したもの。
臨床所見	1. 生後 3 か月から 1 年の乳児に多いが、思春期から中年にかけても発生する。 2. 一般に高熱が続き、口腔粘膜に中央が陥没した小水疱が繰り返し発生する。 3. 口腔粘膜の症状は本疾患の 15% に発生する。
ポイントワード	ヘルペスウイルス、重感染、乳児、神経性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、陥没性小水疱

目 次

1 歯の発育異常

- 1 歯の大きさの異常
- 2 歯の形の異常
- 3 歯の数の異常
- 4 歯の萌出異常
- 5 歯の位置の異常および咬合の異常
- 6 咬合異常を伴う先天性疾患
- 7 原因による歯の形成異常

2 歯の損傷

- 1 咬 耗
- 2 磨 耗
- 3 歯の破折
- 4 放射線による歯の変化
- 5 化学的損傷

3 歯の沈着物および着色

- 1 沈着物
- 2 着色と変色

4 齲 蝕

- 1 エナメル質齲蝕
- 2 象牙質齲蝕
- 3 セメント質齲蝕

5 象牙質・歯髄複合体の病変 (歯髄の病変)

A 歯髄炎

- 1 細菌性歯髄炎
- 2 物理的歯髄炎
- 3 化学的歯髄炎
- 4 内部性肉芽腫または内部性吸収

B 歯髄の退行性病変

- 1 歯髄萎縮
- 2 歯髄の変性
- 3 象牙質・歯髄複合体の加齢的变化
- 4 辺縁性歯周炎における歯髄の変化

C 歯髄の進行性病変

- 1 象牙質の増生
- 2 歯髄の化生
- 3 歯髄切断と覆髄（歯髄の創傷の治療）

6 根尖性歯周組織の病変

- 1 急性根尖性歯周炎
- 2 慢性根尖性歯周炎

7 辺縁性歯周組織の病変(歯周病)

- 1 歯肉病変
- 2 歯周炎
- 3 壊死性歯周疾患
- 4 歯肉-歯周病変
- 5 セメント質の病変
- 6 加齢に伴う歯周組織の変化
- 7 病巣感染・歯性病巣感染

8 口腔顎顔面領域の形成障害

- 1 口腔顎顔面領域における披裂
- 2 舌の形成異常
- 3 口唇および頬などのその他の形成障害
- 4 顎骨の形成障害
- 5 奇形症候群

9 口腔粘膜の疾患

A 粘膜水疱性病変

- 1 ウイルス性疾患
- 2 免疫関連性疾患：天疱瘡
- 3 その他の疾患

B 粘膜潰瘍性病変

- 1 外傷性病変
- 2 細菌性病変
- 3 免疫不全性病変
- 4 アレルギー反応性病変
- 5 腫 瘍

C 粘膜白色病変

- 1 遺伝性疾患
- 2 反応性病変
- 3 その他

D 粘膜の赤色-青色病変

- 1 反応性病変
- 2 腫瘍および腫瘍様病変
- 3 感染症

E 粘膜の色素沈着病変

- 1 外来性色素沈着
- 2 内生色素沈着
- 3 腫瘍および腫瘍類似病変

F 粘膜の疣贅-乳頭状病変

- 1 反応性病変
- 2 感染性病変
- 3 腫 瘍

10 顎骨の病変

- 1 遺伝性疾患
- 2 代謝障害性疾患
- 3 原因不明
- 4 炎 症
- 5 顎骨の骨折
- 6 腫瘍および腫瘍関連病変

11 顎関節の病変

- 1 発育異常
- 2 外 傷
- 3 炎 症
- 4 顎関節症
- 5 顎関節強直症

12 口腔領域の嚢胞

A 歯源性上皮性嚢胞

- 1 発育性嚢胞
 - 2 炎症性嚢胞
- ### B 非歯源性嚢胞
- 1 顎骨の非歯源性嚢胞
 - 2 軟部組織に発生する嚢胞

13 歯源性腫瘍

A 良性腫瘍

- 1 歯源性上皮由来で歯源性外胚葉性間葉を伴わない腫瘍
- 2 歯源性上皮と歯源性外胚葉性間葉からなり、硬組織を伴うあるいは伴わない腫瘍
- 3 間葉あるいは歯源性外胚葉性間葉からなり、歯源性上皮を伴うあるいは伴わない腫瘍
- 4 骨関連病変

B その他の腫瘍

- ### C 悪性腫瘍
- 1 歯源性癌腫
 - 2 歯源性肉腫
 - 3 その他の歯源性上皮性悪性腫瘍

14 非歯源性腫瘍

- 1 良性上皮性腫瘍
- 2 良性非上皮性腫瘍
- 3 前癌病変
- 4 上皮内癌

- 5 悪性上皮性腫瘍(癌腫)
- 6 悪性非上皮性腫瘍(肉腫)
- 7 口腔への転移性腫瘍

15 唾液腺の疾患

A 唾液腺の発生と構造

B 唾液腺の疾患

- 1 発育異常
- 2 退行性病変
- 3 非感染性の反応性病変
- 4 感染性唾液腺病変
- 5 免疫不全による唾液腺疾患
- 6 唾液腺の腫瘍

C 唾液腺疾患のまとめ

16 老化と口腔病変

- 1 老 化
- 2 老年病
- 3 加齢に伴う口腔組織の変化

17 全身疾患と口腔病変

A 全身の症候

- 1 発 熱
- 2 悪心・嘔吐
- 3 食欲不振
- 4 動 悸
- 5 浮 腫
- 6 発 疹
- 7 貧 血
- 8 出血傾向
- 9 リンパ節腫脹
- 10 チアノーゼ
- 11 脱 水
- 12 意識障害
- 13 頭 痛
- 14 胸 痛
- 15 痙 攣
- 16 めまい(眩暈)
- 17 ショック
- 18 呼吸困難
- 19 嚥下障害
- 20 視力障害
- 21 口 渴
- 22 るいそう
- 23 疼 痛

B 全身性疾患

- 1 ウイルス疾患
- 2 細菌感染症
- 3 代謝障害
- 4 栄養障害
- 5 血液疾患

18 口腔病変と症候群

- 1 歯・顎骨の病変を主徴候とする症候群
- 2 口腔軟組織の病変を主徴候とする症候群
- 3 皮膚・粘膜の色素沈着の病変を主徴候とする症候群
- 4 神経の病変を主徴候とする症候群
- 5 代謝および内分泌病変を主徴候とする症候群
- 6 唾液腺病変を主徴候とする症候群
- 7 その他の病変を主徴候とする症候群

19 口腔病変の病理組織診断

- 1 細胞診
- 2 病理組織検査

株式会社 学建書院

〒113-0033

東京都文京区本郷2-13-13本郷七番館1F

TEL (03)3816-3888

FAX (03)3814-6679

<http://www.gakkenshoin.co.jp>

■ お取扱いは